

2019年度 事業計画

2019年4月1日より2020年3月31日まで

1. 【事業実施の方針】

フォーラムは、良好な地域環境の確保と地球環境保全に関する意識の高揚・保全活動に係る事業を行い、「環境都市うつつのみや」の実現に寄与することを事業目的としている。

引続き2019年度指定管理者第3期を取得した宇都宮市環境学習センターのフィールドを最大限に生かすとともに、会員の参加を得て楽しくその目的達成にまい進したい。

(1) 【市民・事業者・行政（以下「各主体」という）の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業】

- ① ホームページの充実と会報誌「Eco together」、さらにメルマガ等での情報発信に努め活動の見える化を進めとともに、各主体間の環境情報の提供と交流を行う。
- ② 市内で開催される環境イベントへ出展し、当法人の活動内容を積極的に広報する。

(2) 【各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業】

- ① 次の部会活動を継続実施する。定期的に部会長会議を開催し情報共有と連携を強化する。
 - ・生物多様性保全部会
 - ・里山保全部会
 - ・再生可能エネルギー部会
- ② 部会独自の活動だけでなく、環境学習センター、団体、大学等との連携事業を通して、活動の場を広げ環境ネットワークの醸成に努める。

(3) 【テーマに応じた環境活動の企画・実践に係る事業】

- ① テーマに応じた環境活動を企画し、市民が気軽に参加し学べる機会の提供に努める。
主に(2)項に示す部会及び事務局が中心になり体験型イベントを企画運営する。

(4) 【宇都宮市環境学習センター指定管理者事業】

2018年度に指定管理者第2期を終了する。2018年度後半に、指定管理者第3期業者に選定されるべく、今日までの実績を踏まえた提案書の作成提出・プレゼンテーションを実施した。その結果、指定管理者第3期業者に選定され、引き続き2019年度以降5年間、指定管理者として宇都宮市環境学習センターの企画運営を行うことになった。

この機会を捉え、さらに事業の質的向上を図り、宇都宮市の環境学習拠点としてその役割りを果たしていきたい。また、支持母体であるフォーラムとの事業連携を深めながら、社会的課題であるESD（持続可能な開発のための教育）やSDGs（持続可能な開発目標）を意識した事業運営に努めたい。

2. 【事業計画】

(1) 各主体の相互交流を図るために必要な情報把握、交換及び提供に係る事業

事業計画	
1) ホームページの運用	<p>【運営：情報部会】 ホームページの内容を充実し活動の見える化を進める。各主体の環境情報にリンクさせ、情報交流の中心的役割を目指し、機能の充実を図る。 さらにメルマガ等を活用し、会員へのホットな情報発信にも努める。</p>
2) 会報誌 (Eco together) の発行	<p>【運営：情報部会】 特集記事の企画、会員の登場、他団体と連携した紙面づくりを行い、タイムリーな環境情報を掲載する。2019年度も写真を多用し、より親しみやすい会報誌づくりを心がける。 発行予定回数：4回(6月、9月、12月、3月) 配布先： 従来の会員に加え関係団体・機関へも配布</p>
3) 環境イベントへの参画	<p>【運営：情報部会】 下記の環境イベントに参加しフォーラムのPRと入会活動に努める。</p> <p>① もったいないフェア (9月予定) 場所：宇都宮城址公園 ② エコテック&ライフとちぎ (12月予定) 場所：マロニエプラザ ③ その他環境イベント</p>

(2) 各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業

事業計画	
	<p>【運営：生物多様性保全部会】 1) 行政、他団体、学生等と協力して、生物多様性保全に関する事業を展開する。 ①生物多様性を楽しみながら身近に感じられる取組の実施 ②生物多様性を理解することができる、わかりやすい教材づくり</p>
	<p>【運営：里山保全部会】 2) 里山環境の保全と環境学習の場を提供する。 ①里山の保全活動： 毎月第3日曜日午前中に保全作業を行う。 ②環境学習センター事業「みずほの自然探検隊」の企画・運営支援を行う。</p>
	<p>【運営：再生可能エネルギー部会】 3) COP21 パリ協定が発効、世界は脱炭素社会実現を向けて舵をきり、改めて再生可能エネルギーの重要性が注目されている。遅れている日本の再生可能エネルギーの創出の実態・課題・今後の普及可能性等を探るとともに、環境学習の場を提供する。 ① 勉強会 (毎月)、再エネ施設調査、講師を招いた勉強会等 ② 宇都宮市の環境出前講座「地球温暖化と再生可能エネルギー」の企画、講師派遣 ③ 部会員の追加募集 ④ 環境学習センター事業の支援 ・「栃木の再生可能エネルギー施設見学会 (地域エネルギーの有効活用他)」の企画運営 ・「環境大学」の企画運営、「チャレンジもったいない」「エコまつり」等環境イベントへの参加</p>

(3) テーマに応じた環境活動の企画・実践に係る事業

事業計画

【運営：各部会、事務局】

- 1) 体験・見学等を通して「環境」に気づく機会を提供する。
 - ① 野鳥観察会（日本野鳥の会栃木との連携事業）
 - ② プチ農業体験（地元さつきプロジェクトチームとの連携事業）
8年目を迎える今年度は、規模を縮小し「畑あそび」を通じて自然の恵・大切さを知る
 - ③ その他

(4) 宇都宮市環境学習センター受託事業

事業計画

【運営：学習センター事業部】

2019年度は、指定管理者第3期の初年度にあたる。年間利用者は2年連続で、3万5千人の大台を超えるなど、安定した実力がついてきた。引き続き事業の質的向上を図り、さらなる飛躍を図りたい。宇都宮市の環境学習拠点施設としてさらに認知度を高めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、次の各機能を充実させる。また、支持母体であるフォーラムとの事業連携も深めながら、E S DやS D G sを意識した運営を進めたい。

- 1) 環境学習機会提供機能
「地球温暖化」と「生物多様性」を重点テーマに、講座・展示の充実を図るとともに、新しい参加者層獲得のためきめ細かい活動を展開する。また、2015年度末に「宇都宮市環境基本計画」が改定され、「生きものつながりプラン」が策定された。これら計画に掲げられた数値目標の達成を図るとともに、環境学習拠点施設としての役割を果たしていく。
- 2) 活動支援機能
「こどもエコクラブ」の事務局として、交流会を実施するなど、引き続き活動を支援する。さらに、学習センターで活動している「自主活動グループ（13グループ）」の活性化を図る。また、フォーラム会員へボランティアサポーターとしての活動支援参加を働きかける。
- 3) 交流促進機能
自主活動グループ、地元自治会、各種団体、地元高校、企業等の支援をいただき今年度も「エコまつり」「チャレンジもったいない」等を実施し、新たな市民の参加を促進する。
- 4) 情報提供機能
新たに年間活動報告書を作成配布、ホームページ（FaceBook含む）での情報発信力強化、1階展示場の改善、再生品提供事業・視聴覚教材・各種環境団体などの情報提供の充実を図る。
- 5) 体質強化機能
市民サービスを支えるスタッフ資質向上のため教育研修を継続する。
- 6) 市民サービスの向上
フォーラムを含め外部評価を積極的に実施し事業運営に反映する。

【利用者目標人数：35,000人】